

1 調査名称：荻窪駅周辺総合交通戦略策定調査

2 調査主体：杉並区

3 調査圏域：荻窪駅周辺

4 調査期間：平成29年度～平成30年度

5 調査概要：

荻窪駅周辺は、区内最大の交通結節点であり、都市機能が集積する杉並区の中心
的な拠点となっているが、駅前広場機能が必ずしも十分でないことや区内唯一のJ
R地上駅であることによる駅南北の商店街の分断、回遊性の不足などの課題を抱え
ている。

こうした課題の解決に向け、平成29年4月に、荻窪駅周辺のグランドデザイン
となる「荻窪駅周辺まちづくり方針」を策定し、この方針の具体化に向けた取組の
1つとして交通関連の取組と連携した総合的・一体的なまちづくりの推進を図るた
め、平成29年度に引き続き調査を実施し、平成30年度、区民等の意見募集を実施
のうえ、「荻窪駅周辺 都市総合交通戦略」の策定を行った。

平成30年度分の調査としては、「協議会の運営」、「現況調査、交通事業者等
へのヒアリング」、「施策パッケージの検討」、「評価指標・数値目標の検討」、
「実施工程表の作成」、「交通戦略案のとりまとめ」、「地域団体・住民への情報
提供等」を実施した。

I 調査概要

1 調査名称：荻窪駅周辺総合交通戦略策定調査

2 報告書目次：2冊構成

1冊目「7. 業務内容」実施の過程で作成した各種資料

1. 業務概要

1-1. 業務目的

1-2. 業務概要

1-3. 業務の内容

2. 現況調査（荻窪駅周辺駐車状況実態調査）

現況調査（荻窪駅周辺駐車状況実態調査）報告書

3. 都市圏パーソントリップ調査結果を活用した交通特性把握

3-1. 都市圏パーソントリップ調査結果を活用した交通特性把握の目的

3-2. 来街者に関する分析

3-3. 集計結果

4. 交通事業者等に対するヒアリング支援

4-1. ヒアリング開催概要

4-2. ヒアリング開催結果

5. 施策パッケージの検討

5-1. 施策パッケージ

6. 評価指標・数値目標の検討

6-1. 評価指標・数値目標

6-2. 目標値の算定方法

7. 実施工程表の作成

7-1. 実施工程表

8. 交通戦略案のとりまとめ

8-1. 荻窪駅周辺 都市総合交通戦略

9. 地域団体・住民への情報提供等
 - 9-1. まちづくりニュースの作成・配布
 - 9-2. 説明会の運営支援

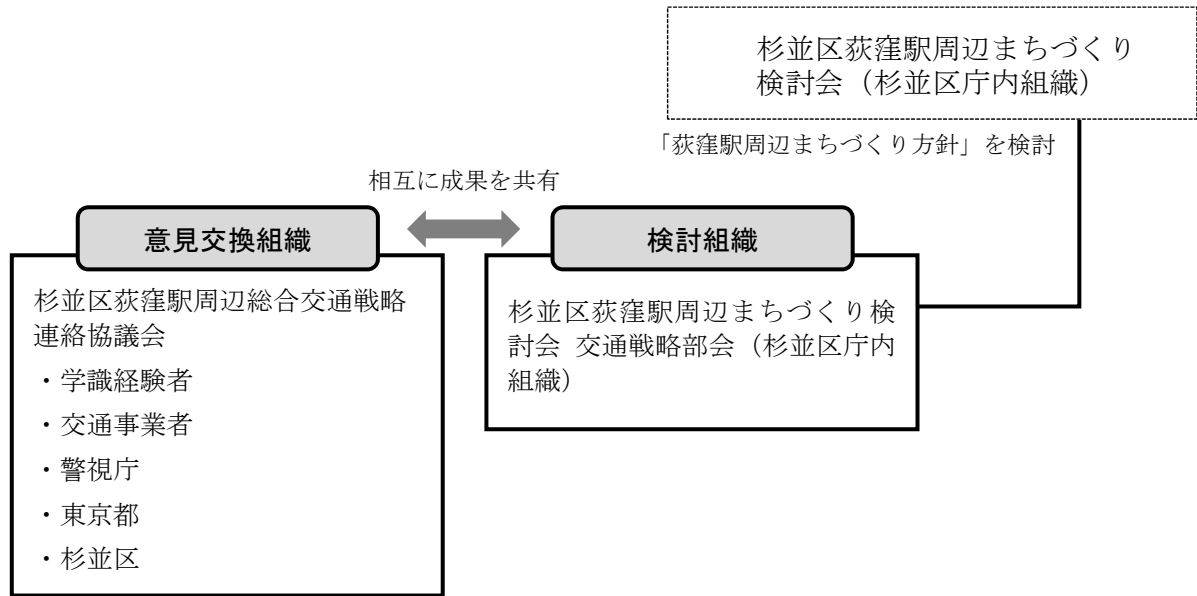
資料編

打合せ議事録

2 冊目 杉並区荻窪駅周辺総合交通戦略連絡協議会の資料及び記録

1. 連絡協議会設置要綱
2. 開催概要
3. 開催結果
 - 3-1. 第4回連絡協議会
 - 3-2. 第5回連絡協議会
 - 3-3. 第6回連絡協議会

3 調査体制



4 委員会名簿等：平成30年度末時点

種別	所属・役職	
学識経験者	日本大学	教授 大沢 昌玄
	首都大学東京	名誉教授 高見澤 邦郎
	株式会社 都市計画設計研究所	代表取締役 関口 太一
鉄道事業者	東日本旅客鉄道株式会社 東京支社 総務部企画室	企画調整課長
	東京地下鉄株式会社 鉄道本部鉄道統括部	渉外・工事調整担当課長
バス事業者	関東バス株式会社 運輸部	計画・営業担当 副部長
	西武バス株式会社 運輸計画部	計画課長
ハイヤー・ タクシー事業者	一般社団法人 東京ハイヤー・タクシー協会	乗務員指導委員会 副委員長
	公益財団法人 東京タクシーセンター	指導部 施設管理課 課長代理
	一般社団法人 東京都個人タクシー協会	業務課長

警視庁	交通部交通規制課	都市交通管理室長	
	荻窪警察署	交通課長	
東京都	都市整備局都市基盤部	交通企画課長	
	第三建設事務所	管理課長	
		補修課長	
杉並区	政策経営部	企画課長	
	区民生活部	副参事（荻窪地域担当）	
	産業振興センター	産業振興センター次長	
	保健福祉部	管理課長	
	都市整備部		都市整備部長
			まちづくり担当部長
			土木担当部長
			管理課長
			都市企画担当課長
			交通施策担当課長
			副参事（荻窪地区まちづくり担当）
			市街地整備課長
			拠点整備担当課長
			土木管理課長
			土木計画課長
	みどり施策担当課長		
	杉並土木事務所長		

II 調査成果

1 調査目的

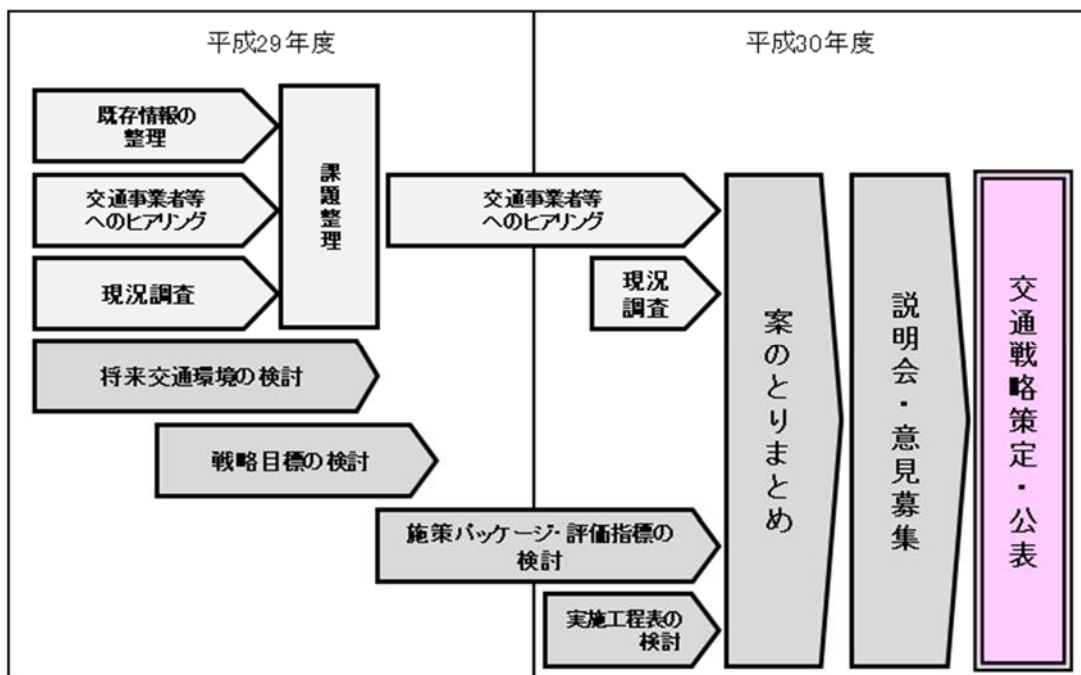
荻窪駅周辺は、区内最大の交通結節点であり、商業・業務、公共サービス、文化・教育などの都市機能が集積する区の中心的な拠点となっている。一方で、駅前広場機能が必ずしも十分でないことや区内唯一のJR地上駅であることによる駅南北の商店街の分断、回遊性の不足など、他のJR3駅と比べて都市の芯としての課題を抱えている。

こうした課題の解決に向け、杉並区基本構想（平成24年策定）では、荻窪駅周辺まちづくりを戦略的・重点的な取組として位置づけ、その推進を図っている。

荻窪駅周辺のまちの特徴・課題を踏まえ、まちの動向や社会経済状況の変化に対応しながら、区民・事業者・行政が一体となって戦略的・計画的にまちづくりを推進していくため、まちの将来像と目標、その実現に向けた取組の方向性を明らかにする「荻窪駅周辺まちづくり方針」を平成29年4月に策定した。

区では、このまちづくり方針で掲げられたまちの将来像の実現に向けて、荻窪駅周辺の交通環境における課題に対応するため、地域、交通事業者、関連機関等と協力して、交通関連の取組と連携した総合的・一体的なまちづくりを推進するために、荻窪駅周辺総合交通戦略を策定することとした。本調査は、その都市交通戦略案を作成することを目的としたものである。

2 調査フロー



3 調査圏域図

- ・荻窪駅周辺 都市総合交通戦略では、「荻窪駅周辺まちづくり方針」に定められた将来都市像の実現を図るため、同方針の対象区域同様に、荻窪駅を中心とする半径 500m の範囲を基本として、町丁目境や地形地物で区切った範囲とします。(図 1)
- ・ただし、バス・自転車等の駅勢圏が広く、東西方向の鉄道(駅)を南北に結ぶ移動があるため、必要に応じて、対象区域を越えて検討を行うこととします。

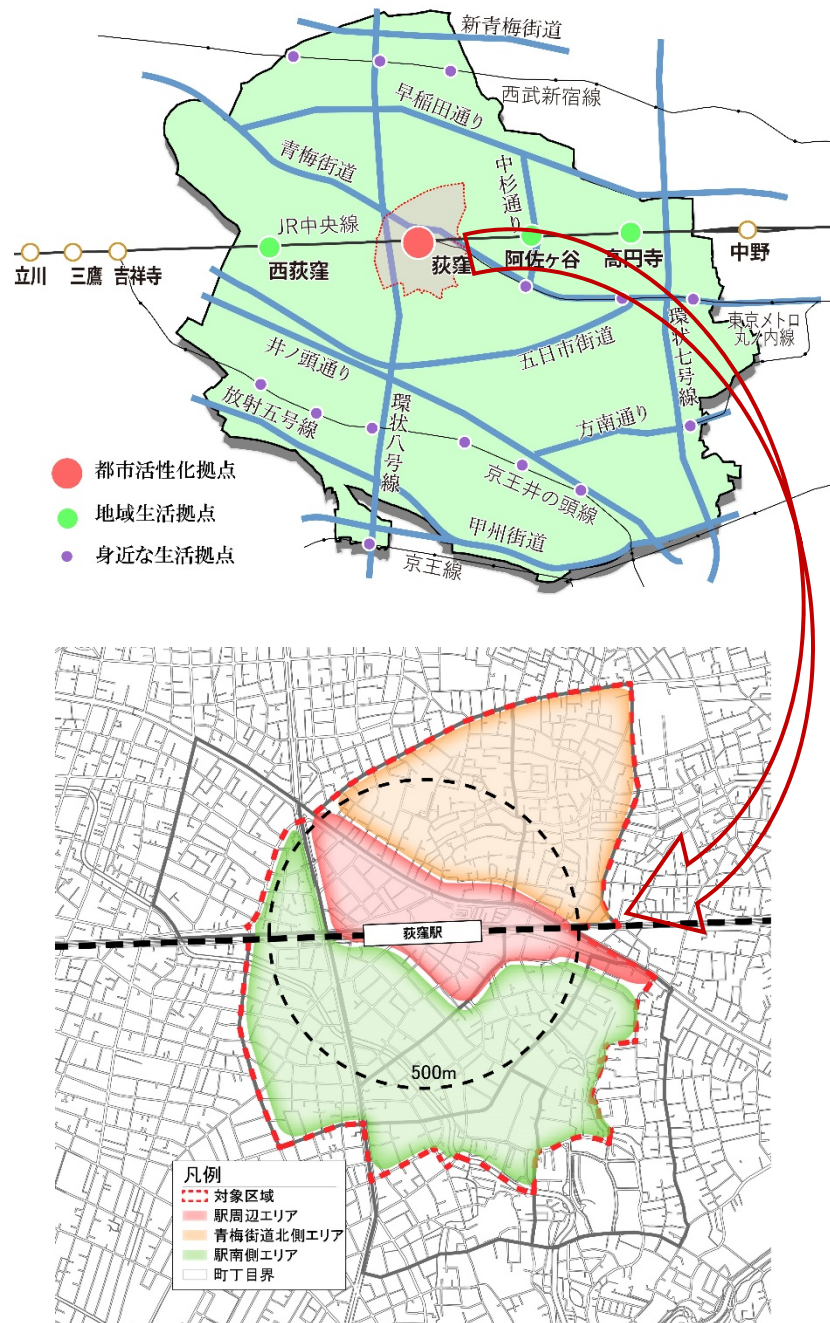


図 1 : 対象区域 (上 : 杉並区全域、下 : 荻窪駅周辺 都市総合交通戦略の対象区域)

『荻窪駅周辺まちづくり方針』(平成 29 年 4 月、杉並区) より作成

4 調査成果

(1) 荻窪駅周辺 都市総合交通戦略の目的

- ・荻窪駅周辺は、区内最大の交通結節点であり、商業・業務、公共サービス、文化・教育などの都市機能が集積する区の中心的な拠点となっています。
- ・一方で、駅前広場機能が必ずしも十分でないことや区内唯一のJR地上駅であることによる駅南北の商店街の分断、回遊性の不足などの課題を抱えています。
- ・区では、荻窪駅周辺のまちの特徴・課題を踏まえ、まちの動向や社会経済状況の変化に対応しながら、区民・事業者・行政が一体となって戦略的・計画的にまちづくりを推進していくため、まちの将来像と目標、その実現に向けた取組の方向性を明らかにする「荻窪駅周辺まちづくり方針」を平成29年4月に策定しました。
- ・このまちづくり方針で掲げられたまちの将来像の実現に向けて、荻窪駅周辺の交通環境における課題に対応するため、地域、交通事業者、警察、東京都等と協力して、交通関連の取組と連携した総合的・一体的なまちづくりを推進することを目的として、荻窪駅周辺 都市総合交通戦略を策定します。

(2) 荻窪駅周辺 都市総合戦略の位置づけ

○荻窪駅周辺 都市総合戦略の位置づけ

- ・荻窪駅周辺 都市総合交通戦略は、「杉並区基本構想（10年ビジョン）（平成24年4月）」、「東京都都市計画 都市計画区域の整備、開発及び保全の方針（平成26年12月）」、「杉並区まちづくり基本方針（杉並区都市計画マスタープラン）（平成25年10月）」を上位計画とし、まちづくり関連計画に位置づけられる取組を荻窪駅周辺 都市総合交通戦略にも位置づけるなどの整合を図るとともに、荻窪駅周辺の上位のまちづくり計画である「荻窪駅周辺まちづくり方針」の交通施策に関するまちづくりの取組を定めるものとします。

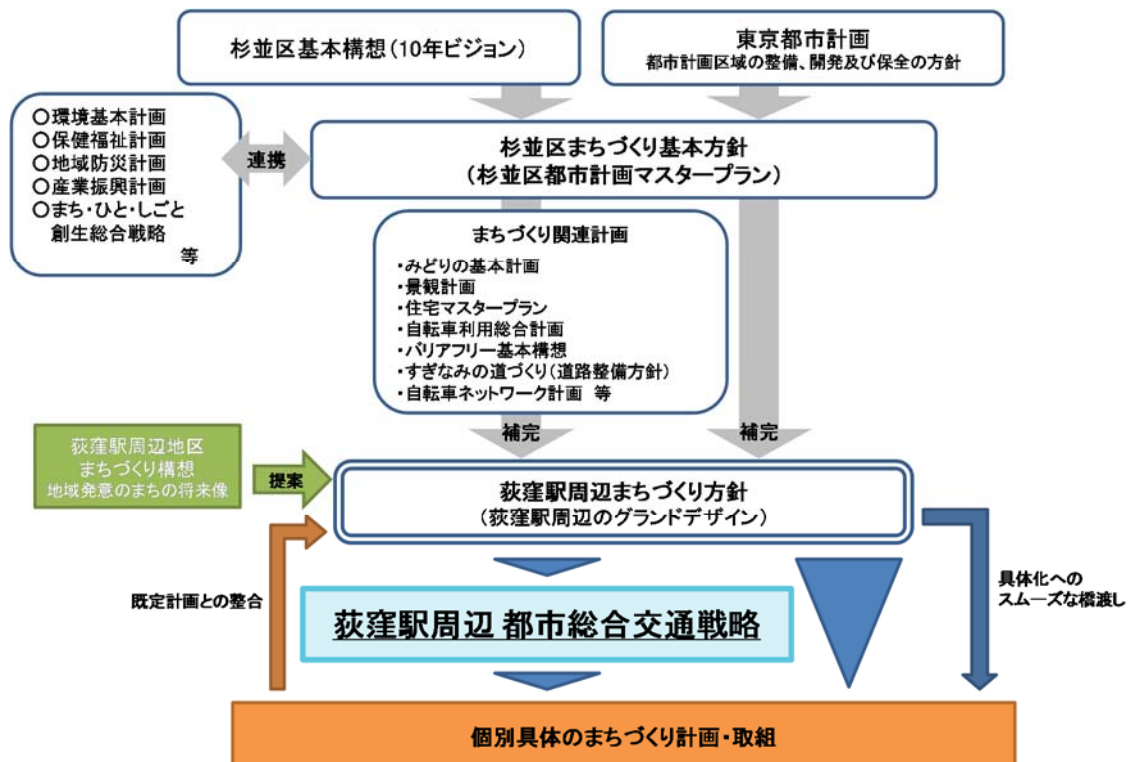


図2：荻窪駅周辺 都市総合交通戦略の位置づけ

○計画期間

- ・荻窪駅周辺 都市総合交通戦略は、「荻窪駅周辺まちづくり方針」にあわせ、概ね 20 年後の未来を視野に入れたものとします。

(3) 荻窪駅周辺 都市総合交通戦略の骨格となる 4 つの視点

- ・荻窪駅周辺 都市総合交通戦略では、「荻窪駅周辺まちづくり方針」で示した「将来像」と「4 つの目標」の実現を目指すことを基本とし、「まちづくりと連携した交通施策」を推進していきます。
- ・「荻窪駅周辺まちづくり方針」における将来像と 4 つの目標を踏まえ、荻窪駅周辺 都市総合交通戦略の骨格として、「南北移動・交通結節」、「利便性・にぎわい・回遊性」、「安全・安心」、「将来の社会変化」の 4 つの視点を定めます。

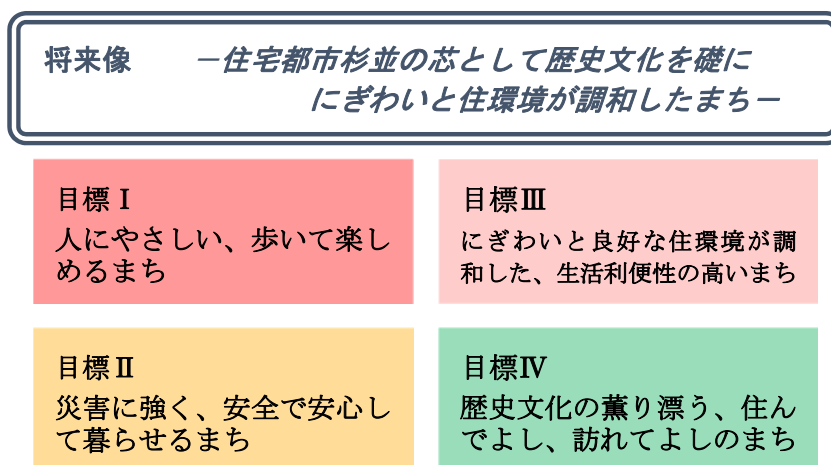
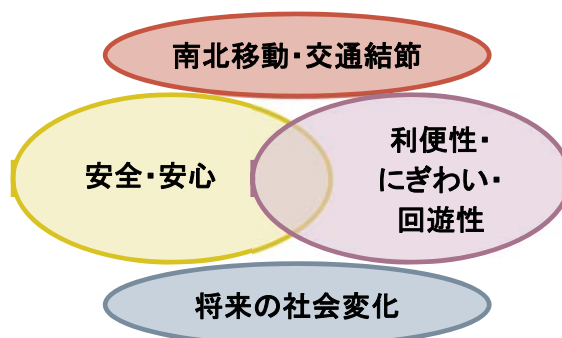


図 3 : 「荻窪駅周辺まちづくり方針」における将来像と 4 つの目標



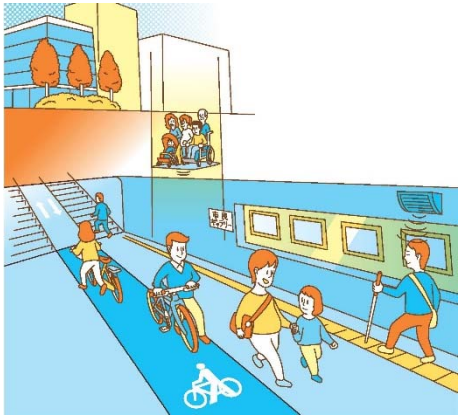
安全・安心	:交通施策の基本となる視点。(目標Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ関連)
利便性・にぎわい・回遊性	:交通施策の基本となる利便性の向上と、まちづくり(都市機能の向上)との連携の視点。(目標Ⅰ・Ⅲ・Ⅳ関連)
南北移動・交通結節	:荻窪駅周辺特有の課題(南北の分断解消)にフォーカスした視点。(目標Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ関連)
将来の社会変化	:戦略的・計画的な施策展開に不可欠な視点。

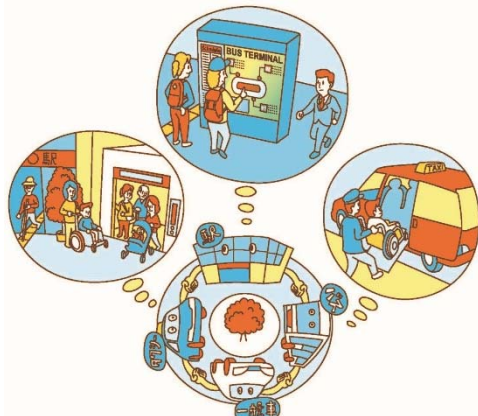
図 4 : 荻窪駅周辺 都市総合交通戦略の骨格となる 4 つの視点

(4) 都市総合交通戦略の基本方針（将来交通環境）

1. 南北移動・交通結節 南北を気軽に行き来できるまち ▶ 『らくらく南北往来プログラム』 乗り換えしやすい駅・駅前広場があるまち ▶ 『すいすい乗換えプログラム』	3. 安全・安心 誰もが安全に安心して移動できるまち ▶ 『ホッと道路プログラム』 ▶ 『みんなに優しい自転車利用プログラム』 ▶ 『頼れるターミナル駅プログラム』
2. 利便性・にぎわい・回遊性 普段の買い物・まち歩きを快適に楽しめるまち ▶ 『今日もいつもの商店街プログラム』 ▶ 『ぐるっとおでかけまち歩きプログラム』 ▶ 『賢い自転車利用プログラム』	4. 将来の社会変化 新たな技術等を生かした安全で快適に移動できるまち ▶ 『新技術活用プログラム』

(5) 都市総合交通戦略の戦略目標と施策パッケージ

らくらく南北往来プログラム	対象 全ての人	
<ul style="list-style-type: none">・駅と一体となった南北連絡動線について、区と鉄道事業者等の関係者が連携を図り、調査・検討・協議を進め、その充実に取り組みます。・荻窪地下道について、移動円滑化や環境改善に取り組みます。環八通り地下通路については、主に環境改善に取り組みます。 【施策パッケージ】 <ul style="list-style-type: none">● 駅と一体となった南北連絡動線の改善等 短期 ~ 長期● 荻窪地下道及び環八通り地下通路の改善等 短期 ~ 中期		

すいすい乗換えプログラム	対象 全ての人	
<ul style="list-style-type: none">・バス・タクシーなどのターミナル機能、駅との連絡機能等の充実に向け、区と鉄道事業者等の関係者が連携を図り、調査・検討・協議を進め、駅前広場等の駅周辺の基盤整備等に取り組みます。・JR・メトロ間等の乗換え経路の改善に向けた検討・協議や、駅とバスのりば間のシームレスな案内・誘導に取り組みます。 【施策パッケージ】 <ul style="list-style-type: none">● 駅周辺の開発にあわせた基盤整備 短期 ~ 長期● JR・メトロ間等の乗換え経路の改善 短期 ~ 長期		

今日もいつもの商店街プログラム

対象 主として**地域住民**

- ・駅周辺のにぎわいと交流を高めるきっかけをつくる観点から、乗換え客を含む日常的な駅の利用者等が、気軽に荻窪のまちに出て楽しめるよう、まちの玄関口としての駅前広場の交流機能の向上などに取り組みます。
- ・まちのにぎわいの創出や、ユニバーサルデザインの観点から、商店街などの買い物道路について、年齢や障害の有無などに関わらず、また、地域住民はもとより、来街者も含む誰もが、安全で快適に買い物を楽しめる空間の確保に取り組みます。
- ・まちのにぎわいの創出や、人の流れと地域の日常生活を支える物流との調和の観点から、まちづくりと連携した駐車場施策や荷捌き環境の改善等に取り組みます。



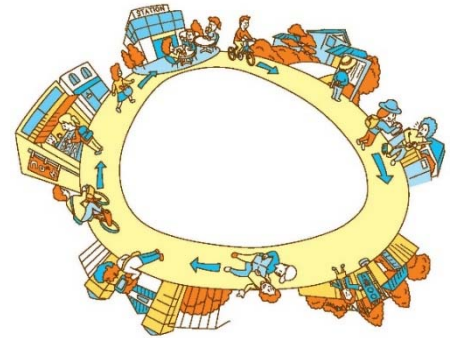
【施策パッケージ】

- まちへ誘うにぎわい拠点の整備 **短期** ~ **長期**
- 荷捌きスペースの確保 **短期** ~ **中期**
- まちのなかでくつろぎ楽しめる空間の創出 **短期** ~ **中期**

ぐるっとおでかけまち歩きプログラム

対象 主として**来街者**

- ・来街者のまちの回遊性を向上させる観点から、駅構内と地上部との連続性を考慮した、わかりやすくシームレスな案内・誘導サインの整備に取り組みます。
- ・数多く点在する歴史的・文化的資源を生かした観光まちづくりと、これを通じた地域への愛着や誇りを育む観点から、復原・整備を行う荻外荘と、大田黒公園や角川庭園等の周辺施設との連携を意識した上で、ハード・ソフトの両面から、回遊性の向上に取り組みます。



【施策パッケージ】

- わかりやすい案内・誘導サインの整備 **短期** ~ **長期**
- 駅周辺の回遊性の向上 **短期** ~ **中期**
- まちへ誘うにぎわい拠点の整備（再掲） **短期** ~ **長期**

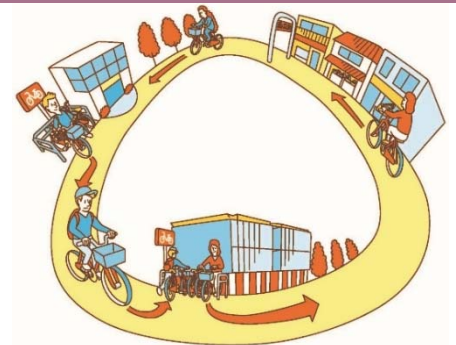
賢い自転車利用プログラム

対象 **全ての人**（自転車利用者）

- ・駅を中心とした地域住民の移動手段の充実や、まちを巡る来街者の移動手段の確保等の観点から、シェアサイクル事業の実施に向けた調査・検討により、自転車利用者の利便性・快適性の向上に取り組みます。

【施策パッケージ】

- 新たな自転車利用の推進 **短期**



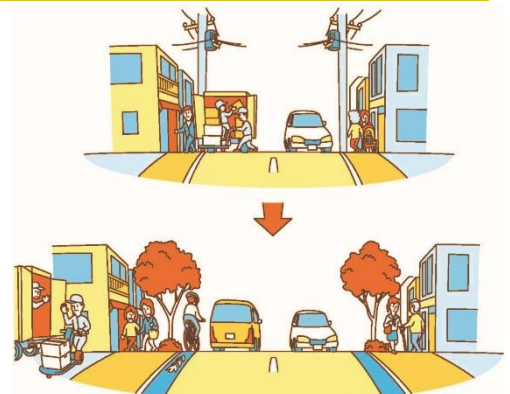
ホッと道路プログラム

対象 主として**地域住民**

- ・歩行者等や自転車利用者の安全性・快適性の向上とともに、災害時における円滑な消防活動や救急・救援活動、安全な避難路の確保の観点から、「すぎなみの道づくり（道路整備方針）」に基づく主要生活道路等の整備や、「杉並区無電柱化推進方針」に基づく無電柱化の推進等により、地域住民はもとより、来街者も含む誰もが、安全・快適に移動できる道づくりに取り組みます。
- ・交通の安全と円滑化の観点から、まちづくりと連携した駐車場施策や荷捌き環境の改善等に取り組みます。

【施策パッケージ】

- 安全で快適な道路の整備 **短期** ~ **長期**
- 荷捌きスペースの確保（再掲） **短期** ~ **中期**



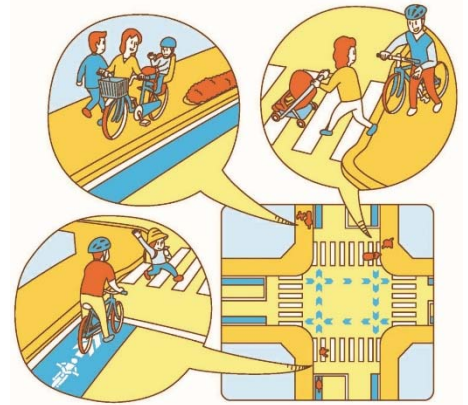
みんなに優しい自転車利用プログラム

対象 主として**地域住民**

- ・歩行者等や自転車利用者の安全性・快適性の向上の観点から、「杉並区自転車ネットワーク計画」に基づく自転車ネットワーク路線の整備に取り組みます。
- ・また、交通安全対策として、自動車の交通量や速度の抑制対策、自転車利用者の運転マナー向上や交通ルール順守への意識啓発等に取り組みます。

【施策パッケージ】

- 自転車と歩行者・自動車が共存できる環境整備 **短期** ~ **中期**



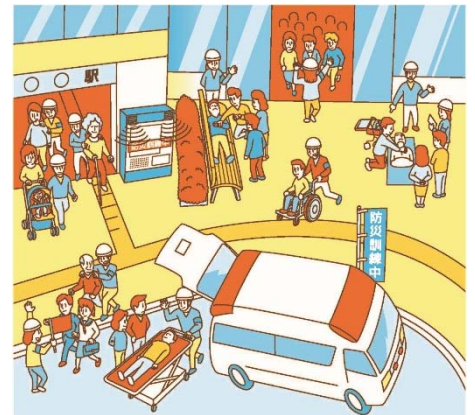
頼れるターミナル駅プログラム

対象 **全ての人**

- ・災害時の滞留機能の向上の観点から、駅前大規模商業施設の機能更新期や周辺街区での共同建替え等の機会をとらえ、駅前広場等の駅周辺の基盤整備等に取り組みます。
- ・鉄道事業者等の関係者と連携を図りながら、駅と駅前広場等の駅周辺の更なる安全性確保に取り組みます。

【施策パッケージ】

- 駅周辺の開発にあわせた基盤整備（再掲） **短期** ~ **長期**
- 駅や駅周辺における安全性の向上 **短期** ~ **長期**



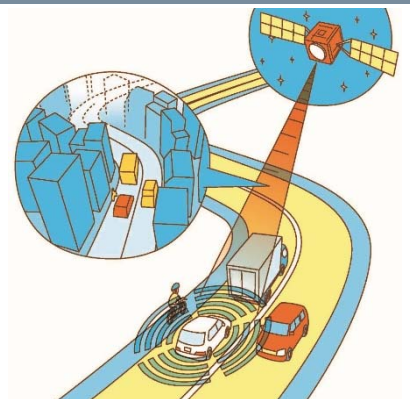
新技術活用プログラム

対象 **全ての人**

- ・社会経済状況の変化や新たな技術開発の動向等を踏まえ、高齢者等の移動支援や効率的な物流の確保の観点から、自動運転技術等、様々な新しい技術の活用可能性について調査・検討を進めます。

【施策パッケージ】

- 新たな技術の活用 **短期**



(6) 評価指標

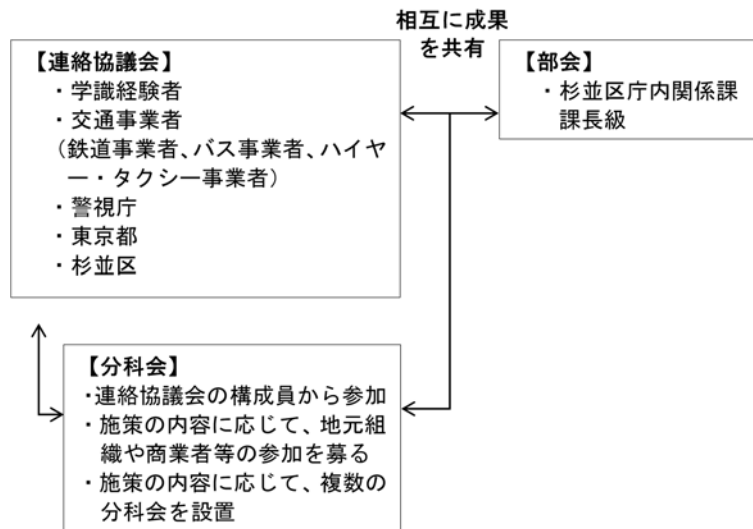
- ・将来交通環境の実現に向け、荻窪駅周辺 都市総合交通戦略の推進管理の参考とする指標として、3つの指標を設定します。
- ・概ね10年後の目標値を設定し、評価時点において把握可能な最新の数値によって評価を行います。

指標	現状値（直近4カ年）				目標値 (平成40年度) (2028年度)
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
荻窪駅の1日平均乗降人員(人)	257,975人	262,047人	267,460人	—	298,000人を上回る値
駅周辺の満足度(%)	—	—	—	79.9%	84.4%
駅周辺施設アクセスの満足度(%)	—	—	69.7%	—	75.3%

(7) 推進管理体制

都市総合交通戦略の推進体制

- ・都市総合交通戦略の推進にあたっては、実施主体となる様々な関係者が相互に連携し、総合的・一体的に取り組むことが重要です。
- ・そのため、右図に示す連絡協議会・部会・分科会により推進管理を行います。
- ・連絡協議会では、概ね年に1度、継続的な意見交換及び連絡調整を行い、着実な施策の展開を図ります。また、評価指標だけでは汲み取ることが困難な、まちづくりへの効果についても意見交換し、情報の共有化を図ります。



PDCAサイクルによる施策の推進管理

- ・都市総合交通戦略を効果的かつ効率的に展開していくためには、施策パッケージを着実に実施するとともに、実施後には適切な評価をし、その結果に基づく柔軟な見直しを図ることが有効です。
- ・そのため、右図に示すPDCAサイクルに基づき、施策の推進管理を実施します。

